

平成 22 年度第 3 回議事録

日 時 平成 22 年 9 月 6 日（木） 15:00～17:00

会 場 地盤工学会 3 階会議室

委員長	笹倉 剛	○	委員	浅古 勝久	×	委員	規矩 大義	×
委員	佐野 哲也 (後任：土井 仁)	○	委員	隅倉 光博	○	委員	長倉 健	○
委員	細野 康代	○	委員	松岡 達也	×	オブザーバー	末政 直晃	×
オブザーバー	片桐 雅明	×						
事務局	浅野	○	事務局	長尾	○			

○：出席， ×：欠席

◎本日の議事録作成担当者（土井委員）

議事録（スレン⇒隅倉⇒土井）

1. 報告事項

1-1. 委員紹介

長倉委員、土井（佐野から交代）委員の紹介

1-2. 前回委員会（7/8 開催）議事録確認（作成者：隅倉委員） 別紙 1

→隅倉委員より議事録の説明があり、承認された。

1-3. 前回会員・支部部会（7/14 開催）報告 別紙 2

→笹倉委員長より、前回会員・支部部会の議事録の報告がされた。

→会員管理システム改善 WG には松岡委員の参加が予定されている。

1-4. 前回広報委員会（8/5 開催）報告 別紙 3

→事務局の長尾さんから報告があった。

→公益法人認定後の広報活動案の審議中である。

1-5. 外部団体会議報告

☆日本工学会 PDE 協議会

☆建設系 CPD 協議会（8/23 開催）報告

→細野委員より、制度比較の作業中で、各団体の要望を調整中であると報告があった。

→特に「日本技術士会」は土木以外の分野も含むため、統一感を重視している。

1-6. 会員管理システム改善WG（8/18 開催）報告

→クラウドコンピューティング技術の導入提案がされた。

1-7. 建設系CPD協議会バックアップWG（8/18開催）報告

→笹倉委員長より12/2開催予定シンポジウムの原案を中心に議事録の報告がされた。

1-8. その他、本部支部連絡協議会（8/18開催）報告

→隅倉委員より報告がされた。

→国内では会員の減少が顕著であるが、海外の地盤工学会では増加している。

→女性会員比率の改善も進まない。

→現代の学生は学会誌を必要としない風潮があるが、学生会員から正会員への移行の増加させる必要がある。

2. 審議事項

2-1. プログラム認定審査 別紙4

→以下10件のCPDプログラム認定の審査を行った。

①(株)総合土木研究所：認定

②(財)全国建設研修センター：公演時間が長く、途中休憩の有無確認が必要

③地盤注入開発機構：4日分の申請講義内容は同一であるのか確認が必要。各日3.5P認定

④TRD工法協会：認定

⑤財団法人日本アンカー協会：認定

⑥ノンフレーム工法研究会、表土層調査技術研究会、鉄壁研究会：特別講演内容確認後、認定

⑦SSLアンカー・Q&Sフレーム協会 北海道・東北支部：最終質疑応答で、どの講師が対応するのか確認後、講師へのポイントを決定する

⑧基礎地盤コンサルタンツ(株) 関西支社：認定

⑨基礎地盤コンサルタンツ(株) 東北支社：社内研修資料が社外秘の場合は認められないことを確認する

⑩第30回 西日本岩盤工学シンポジウム実行委員会：1日目、2日目のポイントを分割申請してもらう。

地域の歴史講義は一般教養としてポイント認定するが、全体の講義時間割りの細分表を提出してもらう。

2-2. プログラム申請書フォーマットの改訂について 別紙5

→事務局・長尾さんより、改訂案の確認があった。

→申請書の注意書きは赤字で表示される。

→改良提案があれば、後ほど連絡することとする。

2-3. 平成22年度委員会構成

→細野委員の後任決定までしばらく時間が必要となる。

2-4. その他

→CPD が入札条項に取り入れられることから、各団体の要望があるが、登録条件については各団体との調整を踏まえ、品質を管理する必要がある。

次回委員会開催日 : 平成 22 年 11 月 2 日 (火) 14:30～ 地盤工学会会議室